

第 6 1 回 通 常 総 会 議 事 録

東京都新宿区津久戸町 4 番 6 号
公益社団法人 プレストレストコンクリート工学会

日 時：令和 2 年 5 月 2 2 日（金） 15:30～16:30
場 所：東京都千代田区九段北 4-2-25 アルカディア市ヶ谷（私学会館）

1. 開 会

西垣専務理事が開会を宣言し、出席正会員は委任状とも 1,432 名で、定款第 17 条に規定する、正会員総数 2,539 名の 2 分の 1 以上の出席を得ているので、本総会は成立する旨報告があった。

2. 出席役員

会長：井上 晋、副会長：阿波野昌幸、前田晴人、専務理事：西垣義彦、
常務理事：下村 匠
理事：太田 誠、玉井真一、丹野 弘、二羽淳一郎、森 拓也、八木恵治、
山田真人の各理事
監事：大西睦彦、大村一馬

3. 井上会長挨拶（要旨）

第 6 1 回通常総会にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

現在、新型コロナウイルスの感染によって日本中が非常に困難な状況に陥っており、影響を大きく受けられている方々に心よりお見舞い申し上げます。

本日の総会は、感染防止の観点から出席者を当役員関係者に絞って少人数での開催とし、できるだけ短い時間での進行とさせていただきたい。本日は、名誉会員に推挙された方ならびにプレストレストコンクリート工学会賞を受賞された方にはご出席をご遠慮いただいた。誠に心苦しく思う次第である。

本工学会は、令和元年度に設立 60 周年を迎えた。11 月に名古屋で開催した「プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム」は、60 周年記念大会と位置付け、多くの関係者の方々にご協力をいただき、参加人数も過去最高であり、成功裡に終えることができた。また、60 周年に際して、過去のプレストレストコンクリートの様々な財産や功労者を後世に伝えていくという大きな目的でホームページに「PCアーカイブス」を開設した。今年 1 年間、PC に関して特に功労のあった方々を本工学会誌に順次紹介していく。

今回の新型コロナウイルスのパンデミックにより、各業界、大学も含めて危機管理体制が非常に重要になってきている。働き方改革が推し進められている現在、テレワークが心ならずも浸透してきた状況にあるが、これを契機に事業の在り方、進め方をそれぞれの事業団体において変革していかなければならないと理解している。

本工学会は、今年度すでにいくつかの主催事業を中止したが、これから検討していかなければならない事業もある。安全・安心な社会に本工学会が果たして行く役割は非常に大きなものがあると考え、2017年に「PCサステナビリティ宣言」を公表している。これから具体的にどのように事業活動を展開していくのか、検討していきたい。

本日は、昨年度の事業についてご審議をいただき、今年度の活動に活かしていきたい。最後までご審議の程をお願いして私の挨拶に代えさせていただく。

4. 議長選出

西垣専務理事から本総会の議長は定款第15条により、会長がこれに当たるとの説明があり、井上会長を議長とした。

5. 議事録署名人の指名

議長発言にて、定款第19条の規定では、議事録署名人は、議長および議長が指名する出席者2名以上としている旨、説明があり、次の両氏が指名された。

阿波野昌幸氏 前田晴人氏

6. 議 事

第1号議案 令和元年度事業報告

議長より前田副会長が指名され、本日配布の議案説明が行われた後、議場に諮った結果、原案どおり承認議決された。

第2号議案 令和元年度収支決算報告

議長より西垣専務理事が指名され、まず令和元年度収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、および財産目録に関し説明があった。

さらに、大西監事から監査の結果、何れも適正且つ妥当であった旨の監査報告、ならびに本決算報告について茂利公認会計士のご指導を受けたとの報告があり、議場に諮った結果、原案どおり承認議決された。

第3号議案 役員改選

議長より本工学会の役員の改選については、毎年約半数の改選が行われ、新任ならびに再任役員の選任については、総会の承認を要する旨の説明があった。

すなわち、本通常総会の終結をもって理事阿波野昌幸、井上 晋、岸本一蔵、齊藤成彦、下村 匠、中村 光、二井谷教治、西垣義彦、深井 悟、前田晴人、森 拓也、八木恵治、山本 徹および監事河瀬日吉の任期が満了したため、次に示す表により理事および監事を選任したい旨を議場に諮った結果、満場一致で承認議決された。

新任・再任役員		継続役員	
理 事	佐 藤 忠 宏 (新任)	理 事	内 野 英 宏
同	三 島 康 造 (新任)	同	太 田 誠
同	阿波野 昌 幸 (再任)	同	春 日 昭 夫
同	井 上 晋 (再任)	同	玉 井 真 一
同	岸 本 一 蔵 (再任)	同	丹 野 弘
同	齊 藤 成 彦 (再任)	同	土 橋 浩
同	下 村 匠 (再任)	同	西 山 峰 広
同	中 村 光 (再任)	同	二 羽 淳 一 郎
同	二井谷 教 治 (再任)	同	睦 好 宏 史
同	西 垣 義 彦 (再任)	同	山 田 眞 人
同	深 井 悟 (再任)	監 事	大 西 睦 彦
同	前 田 晴 人 (再任)	同	大 村 一 馬
同	八 木 恵 治 (再任)		
監 事	上 杉 泰 右 (新任)		

議長発言にて、続いて行う第1号報告の令和2年度事業計画および第2号報告の令和2年度収支予算については、3月17日に開催した第632回理事会において、審議の上、承認されている旨、報告があった。

第1号報告 令和2年度事業計画

議長より阿波野副会長が指名され、令和2年度事業計画の説明があり、了承された。

第2号報告 令和2年度収支予算

議長より西垣専務理事が指名され、令和2年度収支予算書に関し説明があり、了承された。

7. 名誉会員推挙

議長より、本会ならびにプレストレストコンクリート技術の普及と進歩発展のため、長年にわたり功績を残された方を名誉会員に推挙しているとの説明があった。本年度の候補者として大浦 隆氏、中村一樹氏および森田雄三氏が披露され、総会に諮った結果、満場一致で名誉会員への推挙が承認された。

8. プレストレストコンクリート工学会賞授与

令和元年度プレストレストコンクリート工学会賞の授与について、工学会賞選考委員会宇治公隆委員長の代理として阿波野副会長から、令和元年度工学会賞選考理由について説明がなされた。

○論文賞（賞状と記念品）

- 電磁的入力方法により励起されるシースおよび鋼棒の電磁場
応答を用いたPCグラウト充填評価手法に関する基礎的検討
(会誌第61巻6号) 服部 晋一 殿
木部 大紀 殿
寺澤 広基 殿
鎌田 敏郎 殿
- 光ファイバを用いたPC張力計測技術のグラウンドアンカー
への適用 (第27回シンポジウム論文集) 曾我部 直樹 殿
今井 道男 殿
中上 晋志 殿
早川 道洋 殿

○作品賞（賞状と記念盾）

(土木部門)

- 鷺見橋 中日本高速道路(株) 名古屋支社 殿
- 新名神高速道路 菰野第二高架橋 中日本高速道路(株) 名古屋支社 殿
(株)ピーエス三菱・(株)富士ピー・エス特定建設工事共同企業体 殿
- 楊梅山高架橋 西日本高速道路(株) 関西支社 殿
三井住友建設(株)・(株)富士ピー・エス・極東興和(株)特定建設工事共同企業体 殿

(建築部門)

- NIPPO本社ビル (株)NIPPO 殿
(株)日本設計 殿
NIPPO・大日本土木建設工事共同企業体 殿
オリエンタル白石(株) 殿
- カンダホールディングス本社 カンダホールディングス(株) 殿
(株)竹中工務店 殿
(株)ピーエス三菱 殿
- 芦屋ベイコート倶楽部 ホテル&スパリゾート チャペル棟
リゾートトラスト(株) 殿

○技術開発賞（賞状と記念盾）

● ワッフル型U F C床版

阪神高速道路(株) 殿
鹿島建設(株) 殿

○施工技術賞（賞状と記念盾）

● U F Cホロー桁を用いた鉄道橋の急速架け替え技術

京王電鉄(株) 殿
大成建設(株) 殿

● 錐ヶ瀧橋の拡幅

中日本高速道路(株) 殿
三井住友建設(株) 殿

● 高知自動車道 新宮 I C～大豊 I C間災害復旧工事

西日本高速道路(株) 四国支社 殿
鹿島建設(株) 四国支店 殿

9. 閉 会

西垣専務理事が閉会を宣し、第61回通常総会は滞りなく終了した。

令和2年5月22日

公益社団法人 プレストレストコンクリート工学会

議長・会長 井 上 晋 ㊟

署 名 人 阿波野 昌 幸 ㊟

署 名 人 前 田 晴 人 ㊟